

# 犬山市との連携をさらに 深めていきます

**犬山市と犬山南高協定  
教育など幅広い分野で連携**

犬山市と犬山南高校は、教育をはじめとした幅広い分野で連携する包括協定を結んだ。これまでも市のPR動画に同校の生徒が出演したり、市職員が講師として出向いたりしてきたが、関係を明文化することで連携を強化する。

同校は来年四月から学科を再編した上で「犬山総合高校」に生まれ変わる。連携を深めることで、今まで以上に特色ある授業に取り組むことができ、市としても若い世代にまちづくりへの関心を持ってもらえとの期待する。協定に先立ち、同校の三年生が市各課に地域課題を聞き取り、生徒らで解決策を考える取り組みも始めている。



締結式で山田拓郎市長は「高校が新たな展開をしていく中で締結できたことは、市にとっても意義深い」と話し、森也司校長は「よりよい社会に向け、本校の生徒が主体的な役割を果たせるよう力添えいただけたら」と応じた。

(水越直哉)

中日新聞 令和4年11月22日(火)  
朝刊 近郊版



**SDG's 学習成果発表**

犬山南高生 市長りに課題解決策提言

持続可能な開発目標(SDG's)を二年間学んできた犬山南高校(犬山市蓮池二)の三年生が十四日、これまでの集大成として「学習成果発表会」に臨み、自分たちが暮らす地域での課題の解決策を提言した。山田拓郎市長も出席し、発表後に講評した。

生徒はSDG'sが掲げる十七目標に合わせ、「犬山市の高齢者の生活」「少子化をめぐる課題」などのテーマを設定。

市の各課に現状や取り組みをインタビューするなどして解決策を考えてきた。この日は、事前の発表会で

好評を得た七グループが発表した。

貧困問題について調べたグループは、市職員への取材を通して「生活でできなくなつてから相談に来る人が多いことが分かった」と報告。「オンラインでの相談環境をつくる」ことで、相談がしやすくなるのではないかと提言した。

山田市長は各グループの発表に対する感想を述べた上で、「今日発表して終わりではなく、これから社会について考えることを実践してほしい」と期待した。

(水越直哉)



## SDG's in 犬山

## 学習成果 発表会



# 地域社会と ともにつくる学校

📖 キャンパスツアー、模擬授業など



名古屋経済大学

📖 多文化交流フェスで成果発表



犬山国際交流協会

📖 マンツーマン英会話レッスン



DMM

📖 IoTデバイスを使った授業



If Linkオープンコミュニティ

📖 企業からお題をチームで解決



If Linkオープンコミュニティ

📖 e-sportsのプロプレイヤーによるコーチング



BLUE BEES

📖 エンジニアによるプログラミングの授業



BLUE BEES

今年度も多くの方々にサポートして  
いただきます

岐阜大学、  
JTB、ソフトバンク、  
ぬく森、わんまる一む  
名古屋国際工科専門職  
大学 ほか

